Input_(2023年度)

Business Model

Output

Outcome

事業活動に影響を与える外部要因

気候変動の加速と 脱炭素化に向けた動き

人的資本やDXへの 投資重視の姿勢

サプライチェーンリスクの 高まり

> バイオ産業市場の 拡大と競争激化

サステナブル経営に関する 社会的要求の増大



当社にとっての リスク・機会 ➡

財務資本

自己資本比率:92.0% ROE:1.3% 格付け:A+(JCR)

製造資本

- ●安定供給を実現するグローカルな 製造体制
- ●多様なモダリティの製造に対応する 遺伝子・細胞プロセッシングセンター

製造拠点 :5拠点

(日本・米国・中国・欧州・インド) 設備投資額:109億円 ※政府補助金含む

知的資本

- グローバル研究開発体制 3拠点(日本・米国・中国)
- ●独自性の高い創薬基盤技術

研究開発費:83億円

人的資本

- ●将来の成長を担う人材の採用・育成
- ●性別や国籍によらない多様な人材の活躍推進
- ●豊富な技術研修プログラム

連結従業員数 : 1,838人 海外従業員比率: 56.4%

社会·関係資本

- ●イノベーション創出に向けた産官学連携
- ●ステークホルダーとの信頼関係
- ●信頼を確保するコンプライアンス

自然資本

●主なエネルギー消費量

電気: 15,692千kWh 都市ガス: 3,226千㎡

●**水使用**量:117千㎡

大学· 行政機関 製薬企業

臨床検査機関 医療機関



ライフサイエンス産業における インフラを担う グローバルプラットフォーマー

試薬

機器

CDMO

遺伝子

医療

タカラバイオの競争優位

嘎伝子工学· 細胞工学技術

新規モダリティ創出 のための 独自の創薬基盤技術 遺伝子治療の対象を経験という。

国内最大級の CDMO施設

技術研修センクによる
による
独自技術の習得

サステナビリティ経営の推進

持続的な企業価値向上を規律づけるガバナンス

ライフサイエンス研究・バイオ産業を 幅広くサポートする 試薬、機器、CDMOサービス

連結売上高(2023年度)試薬:319億円機器:8億円母託:79億円

受託:79億円 遺伝子医療:26億円



環境に配慮した事業活動

(2023年度 主要事業所実績合計)

- CO₂排出量:14千tCO₂*
- 廃棄物排出量:315t

%Scope 1 \ Scope 2



多様な人材の活躍

(2023年度単体実績)

- 女性活躍推進 女性管理職比率 24.3%
- キャリア人材採用の推進正規雇用労働者の中途採用比率46.6%
- シニア人材の活躍推進 70歳までの雇用延長制度を導入
- 障がい者雇用の推進 法定雇用率(2.3%)を維持

社会

健康で豊かな暮らしへの貢献

顧客

ライフサイエンス研究・ バイオ産業の発展

株主·投資家

企業価値の向上

株主還元の向上

従業員

会社と社員の持続的な 相互成長







リスクと機会

重点分野	リスクと機会	関連マテリアリティ
製造物責任	リスク 問題発生時の回収や補償による経済的損失、信用失墜 優れた品質による優位性の確保、ブランド力の構築	安全▶
競合	リスク 新規参入者やM&Aによる競合企業の増大 事業優位性確保による収益拡大	健康■
研究開発	リスク 研究開発活動の遅延・失敗 機会 技術競争優位性の確保	健康 ➡・人材 ➡
知的財産権	リスク 登録特許の無効、消滅等による競争優位性の喪失、他社権利の侵害 安定的な事業拡大、事業優位性	健康 ➡・ガバナンス ➡
気候変動	リスク 温室効果ガス排出規制や炭素税賦課など新しい制度の導入(移行リスク) 機会 新事業・新製品開発の機会	環境 ➡・健康 ➡
人材	リスク 人材の不足、流出、専門的な知識・技能を持った人材を充分に確保できない 機会 研究開発・製造・販売等における優位性の確保	人材 ➡・人権 ➡
海外展開	リスク 地政学的リスク(調達、人権、税務)の増大 機会 グローバル展開による事業拡大と多極化によるリスク分散	調達 ➡・人権 ➡・ガバナンス ➡
法規制	リスク 法規制の厳格化による事業活動の制限 機会 新たな事業機会の創出	健康 ➡・ガバナンス ➡
災害・パンデミック	リスク 災害・パンデミックによる事業活動停止・遅延、サプライチェーン分断 機会 感染症検査試薬類の販売増	ガバナンス ➡・調達 ➡・コミュニティ ➡
情報セキュリティ	リスク システム停止や情報流失による損失、信用失墜 製品・サービスの付加価値向上	ガバナンス・

マテリアリティ特定のプロセス

STEP1	外部/内部環境の分析
STEP2	中長期の経営戦略に影響を及ぼす可能性が高いリスクと機会の抽出
STEP3	当社グループの影響度、ステークホルダーからの期待度による順位付け
STEP 4	マテリアリティの特定・機関決定
JIEF#	マナリアリティの特定・機関沃定
STEP 5	サステナビリティ計画の策定・実践・進捗管理 🖸